

どう使う？ ICT機器

プロジェクター・大型ディスプレイ

- ・考えや作品を大画面で共有できる！
- ・スクリーンショットで記録ができる！
- ・電子黒板機能で直接書き込むことができる！

こう使う！

東刈谷小の生活科の授業では、「光る泥団子の作り方」を話し合う際にプロジェクターが使われていました。発表者の泥団子の状態をクラス全員が大画面で共有することで、より光らせるための話し合いが活発に行われました。

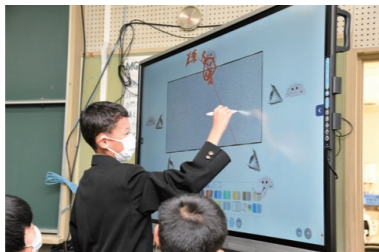
また先生が電子ペンを使って児童の考えを書き込み、黒板と併用することで、他の児童の理解度も高まりました。



こう使う！

朝日中の理科の授業では、光の屈折に関する自身の考えを発表する際に、大型ディスプレイで図形を書き込む機能を使って直線を引き、分かりやすく説明していました。

また雁が音中の技術の授業では、小型ロボットを自動運転させるプログラミングの学習を行う中で、ロボットの動く様子を大型ディスプレイで共有し、問題の解決策をクラス全体で考えていました。



タブレット端末

- ・ノートのように書き込み、共有がすぐできる！
- ・学習用アプリが使える！
- ・オンライン学習ができる！

こう使う！

双葉小の社会の授業では、アプリを使って児童が授業内容を振り返っていました。先生はその内容を瞬時に確認することができます。

また衣浦小の理科の授業では、児童一人一人がアプリを使って考えを入力した後、全員の考えが反映されたものを1つの画面で共有していました。



あつと変わった 子どもの教育

学校教育課 (☎62-1035)

GIGAとは

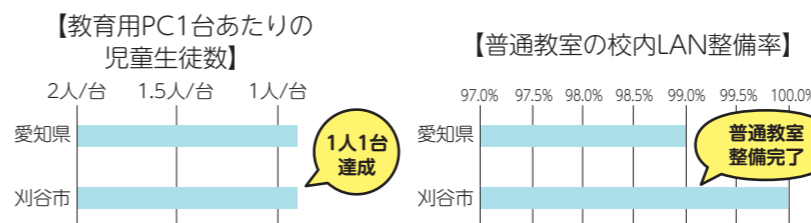
Global and Innovation Gateway for All

「全ての児童生徒のためのグローバルで革新的な扉」



ICT機器の普及状況 (令和4年3月1日時点)

教育用PC (タブレット端末) の配布状況と校内LANの整備率を表したグラフです。刈谷市に限らず、県全体でICT機器の導入が進んでいることが分かります。



資料：文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

平成31年度に、文部科学省が発表した「GIGAスクール構想」。従来の教育に、ICT機器を掛け合わせることで、子どもたちの力を最大限に引き出すことを目指しています。

この構想を機に、市内全小・中学校の子どもたちに1人1台のタブレット端末が配布され、教室への無線LAN導入や電子黒板機能付きのプロジェクター、特別教室への電子黒板機能付き大型ディスプレイの導入などICT教育の環境整備が進められています。

「令和の学びのスタンダード」とも呼ばれるICT機器を生かした教育。日々変化する刈谷市の教育を紹介します。